高崎市ＰＴＡ連合会広報紙
たかさき倶楽部

第９号

「大人が変われば子どもも変わる」

会長　神宮　嘉一

第53回高崎市Ｐ連研究大会は私たちすべてのＰＴＡ会員が主役と位置づけ、ご来場くださる皆さんが、同じ気持ちで同じ時間を共有できる記念日を目指し開催いたしました。

「生きる力」をメインテーマとし、中学教諭の新井国彦先生と、子ども・家庭・学校・地域を連携し問題解決にあたっているスクールソーシャルワーカーの高木さんのお二人から体験談に基づいた課題提案をして頂き、それを受けてパネルディスカッションを行いました。

①確かな学力
②健康・体力
③豊かな人間性

３つの観点から「子どもの生きる力」にアプローチし、子どもはどうあるべきか、どのように変わらないといけないか、教育委員さんとＰＴＡ会員を加えたパネラーの方々に意見を交わしてもらい、会場の皆さんとともに考えました。意外と知っているようで知らない高崎で行われている取り組みや、家庭での身近な悩み、問題解決への苦労話、はたまた成功談などを聞くこともでき、会場からは子どもへの寄り添い方や大人こそ変わらないといけないよね、といった様々な声が寄せられました。新井先生と高木さんからは、いかにして親は子どもを温かく見守り、そしてほめてあげられるかが重要だと指し示して下さいました。

現在高崎市Ｐ連では「顔の見えるＰＴＡ」を目指し、例年以上にブロックでの結びつきを強化しています。インターネットや携帯・スマホといった高度高速情報化の波は避けられないのかもしれませんが、ＰＴＡならではの話題や、そこで交わされるあいさつ・笑顔・言葉はきっと皆さんのご家庭や子育てをより良くするヒントになるはずです。

研究大会の中で、南小と第一中の児童・生徒たちはいじめ撲滅に向けて取り組む様子を慣れないながらも堂々と発表してくれました。毎年全国レベルで活躍している塚沢中合唱部は純心で美しく澄み切った歌声を私たちの心に響き渡らせてくれました。

高崎の子どもたちは私たち大人が想像しているよりずっとたくましく頑張っているようです。

今日の記念日を一緒に過ごした皆さんのちょっとした勇気が、子どもたちの未来へ踏み出す大きな一歩になることを願い、研究大会開催のお礼とさせていただきます。

第53回高崎市ＰＴＡ連合会研究大会を終えて

大会実行委員長　鈴木　宏輝

まず初めに、お礼を申し上げたいと思います。

本大会におきまして、たくさんの方々にご協力を頂き、誠にありがとうございました。市内85校が集結する催しには相当の準備を要しましたが、無事に終えることができ、心より感謝申し上げます。会員の皆さま、事務局、そしてご出演の方々、本当にお世話になりました。

大会を企画するにあたっては、いろいろと議論が行われました。ＰＴＡ本来の意味は何か、子どもを育てるとはどういう事か。また高崎市ＰＴＡ連合ならば、地元の高崎である事にこだわりたい…そんな視点から進めて参りました。そこで私たち大人の役割は、次世代である子どもたちが、自ら生きて行く力を育てることだと、意見がまとまりました。それを育てるにはＰＴＡである家庭と学校、そして地域が加わった連携が大切であり、それぞれの現場の声を届けたい――こうして形が出来上がりました。

ところでＰＴＡの意味と申しましたが、重要なのは情報のやりとりだと思います。分かりやすく連続して提供することと、関心を持って耳を傾けること、このバランスが大切だと考えます。そして関わることで、必要性が高まるのだと思います。前出の家庭、学校、地域と、まずは関わることが大事です。そこできっと私たち自身も、必要とされることでしょう。

結びに、本大会が少しでも皆さまのお役に立ちますよう、また今後のＰＴＡ活動がより発展しますよう、お祈りいたしまして、ご挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

Contents

Ｐ１……市Ｐ連研究大会
Ｐ２……市Ｐ連研究大会発表風景、我が校の自慢
Ｐ４……学校給食
Ｐ６……続・トイレカーペンターズ、市Ｐ連ホームページ、本部役員紹介、編集委員紹介

第53回 高崎市ＰＴＡ連合会研究大会の様子

第一中学校発表風景

パネルディスカッションの様子

塚沢中学校合唱部

南小学校発表風景

今回の研究大会では課題提案を聴いた後に、会場の保護者の皆様にアンケートを書いていただきました。
たくさんの皆様が真剣に聴いてくださり、色々なご意見やご感想を書いてくださいました。
それをパネルディスカッションにも活用し、会場と一体となったディスカッションになりました。

アンケートより抜粋

- SSW（スクールソーシャルワーカー）の役割が理解できた
- 読書を通して生きる力を身につける大切さを学んだ
- 時を守り、場を清め、礼を正すが心に残った
- 周りの環境の必要性を実感した
- 紹介された本を是非、親子で読みたい　etc.

我が校の自慢

【南小学校】

南小学校では、一昨年より南地区地域づくり活動協議会、南校区子ども会育成連絡協議会と南小ＰＴＡが協力して「ふれあいスポーツフェスティバル」を開催しています。

当日は老若男女、子どもから大人まで約３００人が参加し、グラウンドゴルフやスマイルボウリングなどの軽スポーツで一緒に汗を流し、子ども達は簡易プールでのマスの掴み取りに全身ずぶ濡れになりながら夢中になっていました。

最後はＰＴＡのお母さん達が準備したそうめんを竹のレール

に流し、流しそうめんをして楽しみました。

今後も南小ＰＴＡは、このような地域一体となった行事に積極的に参加し、地域との繋がりを大切に活動していきたいと思っています。

【矢中小学校】

ＰＴＡ安全委員会では、7月20日（日）に高崎警察署や高崎交通安全協会、青少協、地域の方々の協力を得て、「親子交通安全教室」を実施いたしました。自転車の安全な乗り方や点検・整備の方法を学んだり、自動車の制動実験や内輪差実験の講習を受けました。当日は、夏休みにもかかわらず、100名ほどの親子と、50名近い地域の方々の参加をいただくことができました。今後も、交通事故から子どもたちを守れるよう、地域・保護者・学校が一体となった安全指導の充実に努めていきたいと考えております。

【箕郷東小学校】

校庭の東側に流れる大清水川、その周囲の竹林は4年生の総合学習の教材として利用され、また火曜日、木曜日の昼休みには児童の遊び場として開放されております。

毎年7月末から8月初旬には児童と地域の皆様をゲストに迎え、竹を利用した箸作りを行い、そうめん流しを実施しております。

今から十数年前にＰＴＡが主体となり、地主さんのご協力があって竹林は切り拓かれました。現在は歴代のＰＴＡ役員と青山恭勇（みつお）校長先生（当時）によって運営されている「竹水夢クラブ」の皆様によって竹林と河川の整備を行っています。

教職員、ＰＴＡ本部役員もボランティアとして整備に参加しております。

地域の皆様のお力添えで自然との調和を学べる学校として順調に発展しているように思います。

【堤ケ岡小学校】

本校ではバザーを運動会の後に行っています。物品は、保護者や地域の方、先生方から提供を受けています。収益金は、子ども達の学校生活や様々な活動が充実するために活用しています。

また、環境整備作業として敷地内の草刈りや校庭整備を行っています。昨年度は、児童数が増えて学級を増やす必要が出てきたので二回目の整備作業として教室引っ越しや校舎内の整備にも取り組みました。

【中室田小学校】

中室田小学校には学校田があります。面積は約50アールです。毎年30俵以上の米が収穫されます。学校田管理委員会（中室田地域の有志とＰＴＡ）が管理運営を行っていて、児童は①籾まき②田植え③稲刈り④収穫祭（米作りの学習発表会と米の試食を通しての祝う会）を経験させてもらっています。

【高松中学校】

たかさき能実行委員会に協力をいただき、3年生を対象に『能を学ぶ会』を開催しています。体育館で能楽師による舞を鑑賞した後、実際に装束を着付けてもらい面を着けて歩いたり、独特のリズムや太鼓の打ち方を習うなど、大変貴重な機会となっています。能を身近に感じる体験をとおして、生徒達は日本の伝統文化を継承する大切さを学んでいます。

【長野郷中学校】

長野郷中学校では、ＰＴＡが主体となっているものの、学校・地域との連携活動、協力に支えられています。

18の支部長が中心となり、区長さんと打ち合わせをしての地域清掃活動もそのひとつです。より充実した活動になるよう改善を重ね、永く継続していきた

いと考えています。PTAセミナーでは、オダギリジョーママの消しゴムはんこ作り・お父さんおしゃれセミナー付き携帯講座・盲導犬のふれあい教室など、楽しくためになる、役に立つものを企画しています。

もちろん、「弁当の日」も継続中です！

【佐野中学校】

佐野中PTA活動の中で、特色と言える活動に「制服リサイクル」があります。現在の制服は、平成5年度に制定され、PTAでは、卒業生とその保護者の協力を得て、不要となった制服をリユースする方法として「制服リサイクル」が実施されています。

成長に伴い、入学時に準備した制服が着られなくなった生徒に、卒業生から提供された制服を貸与する仕組みです。

各学年委員会が2回ずつ（年6回）実施し、卒業生等の保護者より学校に預託された制服を、希望者に貸与し、不要になったら返納することにしております。

学校給食

【中央小学校】

月に1回高崎城下町ランチをメニューに取り入れています。

高松中校区の学校が共通で取り入れているメニューで、地場産の農畜産物を使った給食のことで、『鶏の高崎みそ丼』もそのひとつです。鶏肉を一度焼いておくことで香ばしさが出て風味が増します。

また、かむかむウィーク（年2回）を設定し、虫歯予防デーに合わせて噛み応えのあるメニューを取り入れています。

旬の食材を活かし、季節や活動内容に合わせた献立となっています。

子ども達に人気のメニューも多く、家庭でもつくれるよう、毎月の給食だよりではレシピの紹介もあり好評です。

【西小学校】

本校の給食は、子どもたち・職員にとても評判が良く、自校給食ならではのバラエティー豊かな献立で、季節や行事に合わせた給食が楽しめます。地元の旬の食材を利用し、群馬の郷土料理など積極的に取り入れています。

また、毎月の献立表や給食だよりでは、人気の高いレシピを紹介したり、献立の栄養素や食材の産地、豆知識などを載せたりして「食」に対する知識・興味を高めています。

6月に行われた給食試食会でも、給食の美味しさに皆、驚いていました。

西小学校の子どもたちが好きな給食メニューベスト5を紹介します。

第1位　ソースカツ丼
第2位　カレー
第3位　揚げパン
第4位　ワンタンスープ
第5位　ラーメン

その他に、わかめご飯、高崎丼、豚キムチ丼、いかくんサラダなどがありました。

【滝川小学校】

滝川小の給食作りの特色は、地場産物を活用した献立です。

高崎産の新鮮なチンゲン菜をはじめ、旬のおいしい野菜や県内産の肉、牛乳を使った給食作りを行っています。

高崎市を12の地区にわけてそれぞれ特色ある献立作りを行う地区別料理講習会では、京ヶ島小、大類小、大類中、高南中、養護学校とともに第6グループに所属し、国道354号線にちなみ、「R354ランチ」として月に一度、輪番制で各校の人気献立を紹介し、給食で出しています。

滝川小では、6月にチンゲン菜と新玉ねぎを使った人気献立「チンゲン菜のチキンマリネ」を紹介しました。

また、今年度は、毎月8日を「歯の日」として、給食委員や保健委員を中心に滝川小のみんなで歯の健康について考える日にしています。「歯に良いサラダ」を考えアイディアを出し合い、実際に給食に出しています。

保護者や地域の方に滝川小の特色ある給食を感じていただけるよう、給食の彩りや子どもたちの給食風景の写真を滝川小のホームページで公開しています。

【中居小学校】

中居小の給食
～不足しがちな小魚や豆製品をおいしく～

「今日も給食おいしかった。」と児童の声が給食室に届いています。中居小の給食の特色をひとつあげるとすると不足しがちな小魚や海草、豆製品がおいしく食べられるように工夫された献立です。たとえば、小魚をサラダに入れるとき、油でさっと揚げると食べやすくおいしさが増します。大豆も時間をかけて、あまじょっぱく煮ることで、野菜との相性がよくなり、よりサラダがおいしくなります。また、和風・洋風・中華・イタリアンなど、手作りのドレッシングでさらに素材を活かしたおいしいサラダとなります。

【第一中学校】

第一中学校では、「コラボ給食」や「応援給食」を取り入れています。

A「1年生の家庭科とのコラボ給食」

1年生が、家庭科で習った食品群の栄養素をもとに、家庭でバランスのとれた献立を作ります。その中から3人の生徒の献立を選び、栄養士の先生が給食用にアレンジして作ります。

B「2年生の英語とのコラボ給食」

2年生は英語の授業で、おすしのルーツが東南アジアの貯蔵食にあること、そしてお米ははじめ発酵させるために使われており食べるものではなかったこと、を学習しました。There are many kind of sushi. Let's enjoy Sushi !ということで、ちらし寿司を作りました。

C「入学進級献立」

1年間が良い年になるように、栄養士や給食技師からのお祝いの気持ちが込められた給食で、むくみ・便秘・疲労回復、栄養バランスに優れたメニューとなっています。

D「中体連応援献立」

中体連大会を前に、「勝つ」ことができるように、給食ではお皿の半分くらいもある大きな高崎ソース「カツ」が出されました。

【吉井西小学校】

吉井町はセンター給食です。センターの方が子どもたちのために栄養バランス良く考え、作ってくださいます。月に一度、各小学校での人気メニューが、リクエストメニューという形で出されています。

【並榎中学校】

高崎市では、近隣の小学校・中学校に勤務する栄養士・給食技師が連携して考案した献立を毎年給食に取り入れています。並榎中学校は、西小・六郷小・長野小・北部小・長野郷中と連携しています。高崎市産特別栽培米のゴロピカリに、群馬県産のごぼうと豚肉などを高崎醤油で味付けして混ぜこんだらゴロピカきんぴらご飯、群馬県産大豆で作られた厚揚げやこんにゃくをダシで炊き込んだ煮物、高崎市産の鶏肉・チンゲンサイ・しいたけを使ったシンプルなすまし汁を組み合わせた献立です。良く噛むことと地場産農産物を取り入れることをねらいとして作成しました。和風の献立ですが、生徒もたくさん食べてくれました。

【榛名中学校】

榛名・倉渕地区の地区別料理講習会で考案したメニューに「さっぱり梅入り焼き」があります。榛名中では、カリカリ梅の代わりに、榛名で採れた梅を使用して、地域の方が作った手作りの練り梅を混ぜ込んで焼き上げます。

練り梅と、高崎産の鶏挽き肉・ねぎ・卵・ごま・生姜・パン粉を良く練って、はるな味噌をベースにした味付けでさっぱりと焼き上げます。「美味しくて、ご飯がたくさん食べられる」と生徒に好評です。梅の苦手な子も、苦にならなく食べられるメニューです。

続・トイレカーペンターズ

【倉賀野小学校】

昨年倉賀野小学校140周年記念事業として、校舎・校庭トイレの大掃除、デコレーションを行いました。

学校トイレの環境改善プロジェクト、名付けて「トイレカーペンターズ」。

その更なる発展のため、今年は校庭に設置してあるトイレを、より入りやすい、親しみやすいトイレにしていきたいと考え、外壁の塗装によるデコレーションを行いたいと考えました。

学校のみんなが、卒業しても残るトイレ、と思い、大切に愛着を持って使ってくれるようになることを、この事業の成就と考えております。

◆たくさんの情報をお寄せいただきありがとうございました。

今回、紙面の都合上、すべての学校を掲載することができませんでした。

市P連のホームページにて、お寄せいただいた全単Pの情報を紹介しています。

是非、ご覧下さい！

情報提供をしていただいた皆様

中室田小・下里見小
滝川小・京ヶ島小
東小・中居小
乗附小・下室田小
矢中小・倉賀野小
城山小・南小
西部小・寺尾小
南陽台小・浜尻小
西小・北小
箕郷東小・新町第二小
南八幡小・上郊小
吉井小・中央小
堤ヶ岡小・吉井西小
榛名中・佐野中
第一中・並榎中
高松中・長野郷中

順不同

高崎市PTA連合会ホームページ

http://www.takasaki-pta-net.com/

市内各学校の様々なＰＴＡ活動を紹介しています。
見て学び、そして実践！
それぞれの地域性を活かしたＰＴＡ活動は魅力がいっぱい！
各地域のＰＴＡ活動情報も募集しております。
〈情報委員会・ホームページグループ〉

【お問い合わせ先】高崎市ＰＴＡ連合会事務局
pta-rengou@city.takasaki.gunma.jp

平成26年度 本部役員

会長	神宮 嘉一	中川小	第七
副会長	鈴木 宏輝	中央中等	第七
副会長	安田 祐子	群馬南中	第二
副会長	桂 健太郎	高松中	第八
副会長	小峯 希子	塚沢中	第七
副会長	広瀬 雅美	中央中等	第八
副会長	小路 美芳	吉井西中	第三
常任理事	森 紀子	入野中	第三
常任理事	吉田 哲也	新町第二小	第四
常任理事	相原 誠一	寺尾中	第五
常任理事	清水 久美	長野郷中	第六
常任理事	清水 孝	下室田小	第一
常任理事	飯野 勝利	中室田小	第一
担当校長	髙井 郁朗	桜山小	第二
担当校長	古井戸昌治	矢中中	第四
理事	原田 勝成	倉渕中	第一
理事	中隣 茂大	箕郷中	第二
理事	本間 一成	入野中	第三
理事	天田 高徳	大類中	第四
理事	岩井 真	片岡中	第五
理事	久保田 隆	北部小	第六
理事	吉井 賢一	城東小	第七
理事	小澤 健一	北小	第八
監事	中里見信章	榛名中	第一
監事	今井 陽子	城南小	第八
参与	富山 俊吾	高松中	第八
顧問	川鍋 太志	矢中中	第四
顧問	竹内 一普	北小	第八
顧問	手島 茂樹	東京福祉大学大学院	

広報紙第9号 情報委員会、広報グループ

・グループ長
澤入 公（矢中小）
・副グループ長
宇田川 博（矢中中）
・書記
林 恒徳（新高尾小）
秋山 洋子（南小）
・編集員
柴田 京子（中室田小）
後閑 昭徳（宮沢小）
福田 直美（箕郷東小）
田中 聖子（堤ヶ岡小）
野口 明美（吉井西小）
金澤 栄子（岩平小）
田村 峰子（吉井中央中）
前原 京子（吉井西中）
佐藤 大輔（滝川小）
江城 文隆（南八幡小）
大塚 康幸（乗附小）
福田さな絵（城山小）
佐俣 圭介（豊岡小）
久保田 隆（北部小）
田村 善康（佐野小）
井上 敏聡（中央中等）